

再生 日本経済

カギ握る「不良債権」最終処理

「悪い事は早く飲めば早くよくなる」。みんな分かっているのにできないのはなぜか。そこに「日本の資本主義の不健全さがある」と指摘するのは、日本テクノロジーベンチャーパートナーズ投資事業組合・ベンチャーキャピタリストである村口和孝氏。「責任の所在を明らかにし、意思決定をする仕組みを活性化することが必要」と訴へ。

(高藤 真由美)

不良債権処理の問題が 本主義上の不健全さ。ここまでに引き出したのはなぜ だが不良債権を生み、いつまでも処理されない温床にだと思いませんか。

「個人の責任が不明瞭な 一人の責任が不明瞭な 組織が株を持つ」という。責任は、安定株主と作、と呼ん

日本テクノロジーベンチャー
パートナーズ投資事業組合

ベンチャーキャピタリスト

村口 和孝氏

〇〇〇 8



投資責任の所在明瞭に

できた、世界史上まれなも できた、世界史上まれなも できた、世界史上まれなも のだ。一例を挙げれば、宮 崎のシーガイアの経営破た んはたれも予測できなかった のに、破たん局面を迎え 今言った構造上の問題から

きている。長銀の破たんも 同じ。住専やノンバンクの 向こう側に不良債権を抱え ていることが分かっている のに、破たんの局面を迎え 換えてもいい。こんないた っていないと表に出ない。不良債 権の問題についてはいろんな 技術論があるが、より本質 的には、日本の資本主義を 健全にすることが不可欠」

「日本にはリスクマネー がたくさんある。知見も勇 気もあれば、質実剛健の精 神もある。農耕民族の国で もないのだから、資本主義 の健全化、未来に対する必 要な投資ができるようにあ らゆる努力をしなければい けない。でも、みんな分か っているんじゃないか」

「日本の金融資産をいか に効率よく、未来に生かす か」ということだ。そのため には資本をマネジメントす る責任の所在を明確にし、 企業に悪影響を及ぼすと反 対の意見もあります。

「不良債権の先延ばしは かって中小企業の健全化 を遅らせる。それで痛むく らいならやむを得ない。不 健全な財務体質のまま、だ れが後継者になりたいと 思うのか。たゞ、融資はか り抑え込んだら会社は回ら ない。借り入れ過多の会社 が増えたり、投資家が 中小企業に出資しやすい ような促進策を合わせて推 進する。時限的でもいいか ら、中小企業に出資すると 相続税を大幅に軽減できる ようにしたら、(出資が) 大幅に増えると思う」

「緊急経済対策には何を 望みますか。」

「ベンチャー投資の活性 化策として、日本の金融資 産の大半を握っている高齢 者の資金をできるだけ事業 に振り向けるような税制が 必要だ。例えば、ベンチャ

「日本にはリスクマネー がたくさんある。知見も勇 気もあれば、質実剛健の精 神もある。農耕民族の国で もないのだから、資本主義 の健全化、未来に対する必 要な投資ができるようにあ らゆる努力をしなければい けない。でも、みんな分か っているんじゃないか」